

城西眼科

群馬県太田市新野町1256-1
TEL.0276-30-4177
http://www.jo-sai.com

院長・眼科専門医 藤澤 桃子
副院長・眼科専門医 藤澤 邦俊
インタビュー 萩原 流行
[俳優]



INTERVIEW
MOMOKO FUJISAWA・KUNITOSHI FUJISAWA × NAGARE HAGIWARA

難治症例も手術した医師が執刀する、最先端の近視治療法「フェイクツクIOL」

のです。

萩原 お父様のところで手術の必要があるような患者さんがこちらに紹介されて来られると、きちんと連携が取れているので、患者さんにとって安心ですよ。ところで、お二人とも開業前はどちらかの病院にお勤めだったのでしょうか。



藤澤(邦俊) 私も妻も北里大学病院に勤務し、関連病院で医長をしていました。開業直前は私が部長であった北里大学北里研究所メディカルセンター病院に妻も勤務していました。私はこれまで同病院を始め二十以上の医療施設で一万二、〇〇〇例に上る眼科手術に携わり、難治症例も数多く執刀してきました。そのような経緯もあり開院と同時に手術希望の患者さんが数多く来られ、既に年末まで予約でいっぱいになっています。

萩原 本日は城西眼科さんを訪ねました。藤澤院長と副院長はご夫婦だそうですが、まずはお二人が医院を開院された経緯からお聞かせ願えますか。

藤澤 私の父がここから車で十分程度の場所に小林眼科クリニックを開院したのは約三十年前の昭和五十八年でした。長年診察している患者さんの中には手術が必要の方も少なからずいらっしゃいました。その方々の手術を父に代わって執刀するために私ども夫婦が今年五月に当院を開院した次第です。

藤澤(邦俊) 設備などの面で、そちらのクリニックを継承するより別に医院を構えた方が患者さんのために良いのではと考えた

萩原 高齢化に比例し、眼に悩みを抱える方が増えていると思います。私は中学生の頃には既に近眼で、病院にも頻繁に通いました。遠くが見えなかつたり、眼鏡を掛けたり外したりする不自由さも嫌というほど味わいました。でも役者という仕事に就いてからは周囲が見えなくては支障が出ますので、ソフトコンタクトレンズが発売された時は率先して手に入れたり、新しい治療法も色々試みたりしてまいりました。近眼の者にとって、遠くを眺める爽快感は大きな憧れです。

藤澤(邦俊) そうですね。近視の外科的な治療法としては、エキシマレーザーを用いた「レーシック」が有名ですが、角膜を削って治療するため、治せる度数には限界があります。近視がとても強い患者さんは角膜

が薄くなってしまつので、手術ができません。その中で今年二月に「レーシック」よりも新しい「フェイクツクIOL」の手術が日本でも承認されました。欧米や韓国では広く行われている手術で、ひと言で言えば非常に薄くて、柔らかい特殊なレンズを眼の中にセッティングするというものです。「レーシック」で手術不可能だった強度近視でも矯正可能となりました。現在この手術のライセンスを持つ医師は私を含め国内に十数人、手術の設備を備えたところとなると当該院以外数件しかない状況です。

萩原 城西眼科さんはその数少ない貴重な眼科というわけですね。近くの方々はありますか。

藤澤 「フェイクツクIOL」だけではなく、最新の白内障手術である「多焦点眼内レンズ」を用いた老眼治療も行なっています。「遠近両用レンズ」といえば分かりやすいでしょうか。白内障と老眼が一緒に治るといふことで、今大変注目されています。また、緑内障や網膜疾患の診断に非常に有用な「3次元OCT」をこの周辺地域では最初に導入し、患者さんに説明する際に、大変分かりやすいと好評を頂いています。

萩原 ご開業されたばかりで、いろんな目標や夢があると思います。最後に今後の展望についてお聞かせ下さい。

藤澤 当院のモットーは「最新の医療を分かりやすく提供致します」

① INFORMATION

「清潔・誠実」をモットーに、最新の医療を分かりやすく提供します



ます」となっています。「フェイクツクIOL」や「多焦点眼内レンズ」といった最先端の治療を地域の皆様のみならず、HPでの手術動画などを通じて全国の皆様に知って頂き、当院が眼の健康について啓蒙する拠点になればと願っています。

藤澤(邦俊) 眼を手術された方のほとんどは「こんなに見えるものなのか」と感動の言葉を口になさいます。その感動がいつまでも続くように眼科医として術後のケアにも配慮し、一人でも多くの患者さんに遠くまで見える感動、ものが鮮やかに見える感動などを味わって頂きたいですね。

萩原 目は心の窓とも言いますよね。患者さんのために力を合わせて頑張ってください。本日はありがとうございました。